

校長室だより No.18 1月8日(水)

「自分は大人だと思うか？」(3学期始業式講話)

令和最初の正月。干支も最初に戻り「子年」。そしてオリンピックイヤーでもある今年2020年。生徒たちにとって充実した一年になることを願い、次のような話をしました。

昨年末に日本財団から「18歳意識調査(第20回社会や国に対する意識調査)」が公表されました。インド・インドネシア・韓国・ベトナム・中国・イギリス・アメリカ・ドイツ・日本の9カ国の17～19歳の男女1000人の調査結果です。(教室にも貼ってもらおうと思っています)

項目の一つ「自分自身についての設問」と日本の数値(%)は次の通りです。

自分自身を大人だと思う	日本 29.1%	1位中国 89.9%	8位韓国 49.1%
自分は責任がある社会の一員だと思う	日本 44.8%	1位中国 96.5%	8位韓国 74.6%
将来の夢を持っている	日本 60.1%	1位インドネシア 97.0%	8位韓国 82.2%
自分で国や社会を変えられると思う	日本 18.3%	1位インドネシア 83.4%	8位韓国 39.6%
自分の国に解決したい社会課題がある	日本 46.4%	1位インドネシア 89.1%	8位ドイツ 66.2%
社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している	日本 27.2%	1位中国 87.7%	8位韓国 55.0%

日本はいずれの項目においても9カ国の中でかなりの差をつけての最下位という衝撃的な結果となっています。生徒にもそれぞれについて自分の心の中でYesかNoかを考えてもらいましたが、この差はいったいどこから来るのでしょうか？

たとえば「自分自身を大人だと思う」の項目の「大人」とは何か？私は「自分で考え、判断できる人」だと思っています。自分の「夢」を持ち、「その実現のために何をすれば良いのかを考え、行動できる人」。それが「大人」といえるのではないのでしょうか。自分がそういう「大人」であるという自覚が持てれば、そのほかの項目もそれに伴って増えてくるでしょう。生徒には「夢を持って人に任せるな、自分で考えよ 行動を起こせ」と言うことを伝えました。そして、言うまでもなくそういう「大人」を一人でも多く育てるのがこの学校の使命と考えます。

質問項目には次のようなものをありました。

「自分の国の将来についてどう思っていますか？」

日本：良くなる 9.6%(最下位 1位中国は96.2%)
悪くなる 37.9%(2位)
わからない 32.6%(1位)

自分の国の将来について若者が希望を抱けるよう努めるのは私たち大人の役目でもあります。壁は厚く、課題は山積していますが、教職員一同これからも一歩ずつ歩みを進めて行きたいと思っておりますので、変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

参考

[PDF 第20回 18歳意識調査「テーマ：社会や国に対する意識調査」要約版 \(PDF / 871KB\)](#)